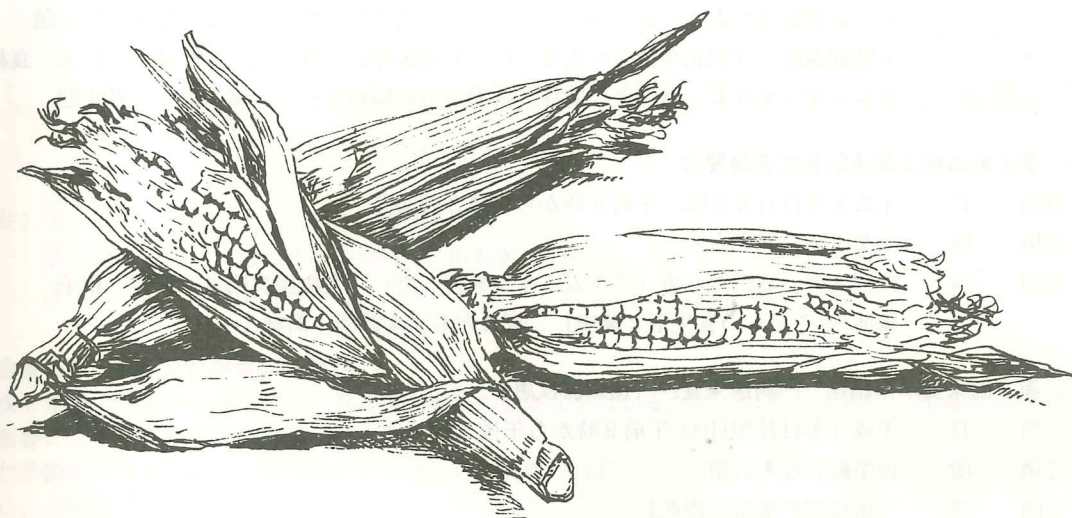


社団法人 山梨県栄養士会 〒400 甲府市丸の内二丁目38-8 ☎0552-22-8593 平成8年9月

9・10・11月の行事予定

- | | |
|-----------------------------|-----------------------------|
| 9月14日(日) 「いきいき山梨ねりんピック96」協力 | 11月6日(水) 子どもの成人病予防食生活講演会 |
| 9月20日(金) 第2回理事会 | 11月14日(金) 栄養やまなし編集委員会 |
| 10月12日(土) 栄養と健康を考える講演会 | 11月20日(水) 栄養なんでも相談(記事)検討委員会 |
| 10月27日(日) 関東甲信越地区「糖尿病センター」 | 11月30日(土) 第3回栄養学術講座 |



目次

事務局だより	2	職場紹介	13
市町村栄養士配置計画に関する調査結果	4	病院栄養相談開設の紹介	17
職域部会 今年度の動き	8	第6回 研究発表会要旨	19
病原性大腸菌O-157のはなし	10	会務報告	22
第10回 管理栄養士国家試験合格者の声	11	賛助会員	23

事務局だより

1. 健康と栄養を考える講演会

- ◎期 日 平成8年10月12日(土) 午前10時から午後3時30分
◎場 所 山梨学院大学40号館101教室
◎内 容 『特定保健用食品の現状と栄養教育』 (財)日本健康栄養食品協会 担当者
『腸内細菌と健康とのかかわり』 東京大学名誉教授 光岡 知足

2. 関東甲信越糖尿病セミナー

- ◎期 日 平成8年10月27日(日) 午前9時から
◎場 所 甲府市総合市民会館
◎参加費 1,000円
◎内 容 ・特別講演 『糖尿病の現状と未来』 講師：日本糖尿病学会会長 後藤 由夫
・シンポジウム 「糖尿病の日常生活」 済生会中央病院 松岡健平 外3題
・特別講演 『国民病予防の変遷で問われる医療』 講師：医療評論家 行天 良雄
・シンポジウム 県栄養士関係「栄養士の立場から」 土屋 都 外4題

3. 子どもの成人病予防食生活講習会

- ◎期 日 平成8年11月6日(木) 午前9時から午後3時30分
◎場 所 山梨県総合婦人会館
◎内 容 調理実習 幼児の食事(スキムミルクを使った) 大島保育園長 沢村 和子
講演 『こどもの食生活と健康』 (財)こども未来財団 岡林 一枝

4. 第3回栄養学術講座 ～病態栄養～(循環器疾患)

- ◎期 日 平成8年11月30日(土) 午前9時から午後5時30分
◎場 所 山梨総合婦人会館
◎内 容 『循環器の構造と機能』
山梨医科大学第1生理学教室 橋本 眞明
『循環器疾患と病理理論』
山梨県立中央病院 講師 交渉中

5. 第43回 日本栄養改善学会発表者及び参加者にお知らせ

第43回 日本栄養改善学会が9月26日(木)～27日(金)の2日間、昭和女子大学、東京栄養食糧専門学校を会場に開催されますが、従来参加者に対して学会参加を奨励する参加奨励助成金を支給してきましたが、発表及び参加者の把握に労を要しました。そこで、今年度からは各自の自己申告に基づいて支給することとしますので、該当者は忘れずに次の要領で期日までに申告してください。期日までに申告のない会員には支給しませんので念のため申し添えます。

記

- ① 学会で研究成果を発表する講演者(示説者を含む)には、20,000円を支給します。但し、共同研究に連名で氏名のみが記載される場合には、支給されません。
② 学会に出席した参加者には3,000円を支給します。
③ 講演者(示説者を含む)は、演題採否通知書の写しを、学会出席参加者は、郵便振込金受領証の写しを添付して下記様式により10月5日までに請求してください。
(期日までに請求がない時は該当者かないものとして打ち切ります。)
④ 奨励助成金請求書様式(B5判縦半載)

第43回 日本栄養改善学会講演者及び参加者奨励助成金請求書

¥ 円也

会員番号No. 号

住 所

氏 名 印

勤 務 先

- (注) ① ア・イの該当する事項を○で囲むこと。
② 請求金額は、講演者は20,000円、出席者は3,000円と記入すること。
③ 会員個々に提出すること。

6. 会費の預金講座自動振替のお願い

平成8年度より山梨県栄養士会会費の徴収事務の効率化をはかるため、山梨中央銀行に普通預金口座自動振替による会費の振込を委託いたしました。
まだ手続きをされていない方は平成9年度からの会費が自動的に引き落され、栄養士会に納入できるように、ご協力をおねがいします。

つきましては、別添依頼書・届出書をご記入うえ栄養士会事務局あて郵送してください。

- 1 山梨中央銀行(本、支店)に普通預金口座をお持ちでない方は、口座を作ってください。
- 2 自動振替期日は、(社)山梨県栄養士会定款施行細則第2章第4条の規定により3月31日ととなっています。(但し、年度切り替え時期のため、手続き上、銀行振替日は4月10日とします。)
- 3 会費は、平成8年度会費 12,500円
自動振替手数料 103円(会員負担)
- 4 依頼書・届出書の記載要領
①預金者欄に会員の氏名を記入し、預金通帳と同一の印鑑を捺印のこと。
②契約者欄に会員の住所、氏名を記入し捺印のこと。
③指定口座欄に会員の預金通帳の銀行名、口座番号を記入のこと。
④欄外に鉛筆で会員番号を記入してください。
- 5 不明の点、自動振替のできない場合は栄養士会事務局へ電話(0552-22-8593)で照会してください。

市町村栄養士配置計画に関する調査結果

～ 栄養士配置市町村は、15市町村（23.4%）～

地域保健法の制定により、「住民に身近で頻度の高い保健サービスについては、生活の場である市町村において一元的かつきめ細かな対応を図る」との考え方から「栄養相談・一般的栄養指導業務を都道府県等から市町村へ委譲する」とし、これに係わる職員は「管理栄養士、栄養士をして行なう」との方針が国から示された。

そこで、本会が山梨県内の市町村に平成8年3月31日現在の市町村栄養士の配置状況について調査した結果がこの程発表された。

さらに本会では、「栄養士による市町村栄養相談事業への推進に関する要望活動」も併せて実施した。

（別紙1）

管理栄養士または栄養士配置の年度別採用計画

（平成8年3月31日現在）

市の部 （7市）	既に栄養士 を配置して いる市	現在配置計画のある市の採用年度別計画			現在配置計画のない市 及びその理由	回答のな かった市
		管理栄養士	栄養士	他部署勤務栄養士の兼 務活用を検討の市		
甲府市	○					
塩山市					○ 財政的に困難	
山梨市	○					
韮崎市		9年か10年				
富士吉田市	○					
都留市	○					
大月市					○ 職員定数の関係	
合計	4	1			2	

町の部 （37町）	既に栄養士 を配置して いる町	現在配置計画のある町の採用年度別計画			現在配置計画のない町 及びその理由	回答のな かった町
		管理栄養士	栄養士	他部署勤務栄養士の兼 務活用を検討の町		
竜王町						○
敷島町	○					
玉穂町				○ 町立保育園調理員		
昭和町					△ 検討する	

田富町					○ 財政的に困難	
春日居町						○
牧丘町	○					
勝沼町						○
石和町	○					
御坂町						○
一宮町	○					
八代町			11年頃			
中道町	○					
三珠町					○ 理由不明	
市川大門町		9年頃				
六郷町						○
下部町						○
増穂町			11年頃			
鯉沢町						○
中富町						○
早川町	○					
身延町			10年頃			
南部町		10年頃				
富沢町			8年（但し臨時職員）			
白根町						○
若草町					○ 財政的に困難	
柳形町		9年頃				
甲西町			12年頃			
双葉町		10年頃				
須玉町	○					
高根町					○ 財政的に困難	
長坂町			9年頃	管理栄養士か栄養士未定		
小淵沢町					○ 在宅栄養士活用	
白州町						○
西桂町	○					
河口湖町			9年頃			
上野原町						○
合計	8	4	7	1	5 検討1	11

村 の 部 (20市)	既に栄養士 を配置して いる村	現在配置計画のある村の採用年度別計画			現在配置計画のない村 及びその理由	回答のな かった村
		管理栄養士	栄 養 士	他部署勤務栄養士の兼 務活用を検討の村		
上九一色村			10年頃			
三 富 村						○
大 和 村					○ 財政的に困難	
境 川 村	○					
芦 川 村					○ 財政的、職員定数的困難	
豊 富 村						○
八 田 村						○
芦 安 村						○
明 野 村			11年頃	管理栄養士が栄養士未定		
大 泉 村	○					
武 川 村						○
道 志 村						○
忍 野 村						○
山中湖村						○
勝 山 村						○
足 和 田 村				○ 村立保育園栄養士		
鳴 沢 村	○					
秋 山 村						○
小 菅 村					○ 財政的に困難	
丹波山村						○
合 計	3	0	2	1	3	11

総 計 15 5 9 2 10 検討 1 22

- (注)
- ◎ 管理栄養士の配置計画について、回答をお願いした市町村数は、既に配置している市町村15市町村を除く、49市町村で、回答を得た市町村数は27市町村（55.1％）であった。
 - ◎ 回答を得られなかった町村数は22町村（44.9％）であった。
 - ◎ 回答のあった市町村の内、今後管理栄養士または栄養士を配置する計画があり、採用を考えている市町村数は、14市町村（28.6％）、他の部署に勤務する栄養士の兼務活用を検討している町村数は、2町村（4.1％）配置計画のない市町村数は、10市町村（20.4％）であった。
また、検討してみると回答を寄せた町は1町（2％）であった。
 - ◎ 数字の％は、回答をお願いした49市町村に対する割合である。

(別紙2)

(2) 地域保健法の施行に対する意見

- ア 財政力及び職員等のマンパワーが十分でない町村単位で、権限委譲されても、困るのは担当者である。広域的に専門家の確保をしていただき、支援していただきたいと考える。(田富町)
- イ 様々な事業が市町村に体系づけられるが、財政の措置がつかない事業も多く、小規模町村の財政負担は大きい。せめて補助対象の規制をゆるやかにして欲しい。活動の拠点である保健センターの設置についての指導を欲しい。(市川大門町)
- ウ 栄養士の確保のために地方交付税の財源措置がされているというが、現状では財源措置が明確にされていない。(身延町)
- エ 平成9年4月施行により、栄養相談指導に係わる自治体の業務は、一層拡充強化されることとなり、人的体制の整備は喫緊の課題であると認識している。(南部町)
- オ 具体的に、町に委譲してくる事務の予算や事務量が、はっきりわからないので不安です。マンパワーの不足。(富沢町)
- カ 住民に一番近い所でのサービスを提供できるという点ではよいが、一つ一つの町村で全てのスタッフを整えるのは時間がかかる。困難である。特にスタッフの点では少し広域的に考えた方がよいのではないかと思う。(甲西町)
- キ 基本方針の「地域を主体とした保健・福祉サービスが最も身近な所で受けられる」という市町村主体の考え方は住民にとっては良い体制だと考えます。しかし、全体的に市町村に事業が委譲されることについては、不安もあります。栄養改善関係も、全て市町村に委譲され、住民の栄養指導、食生活改善推進員の養成、育成も行っていかなければなりません。将来的には市町村に栄養士が設置されますが、保健所のご協力も得たいと考えます。(双葉町)
- ク 平成9年4月1日から地域保健法施行により、従来県で実施していた栄養相談、指導のうち一般的なもの市町村に委譲される形態となる中では、専門職の確保は必要になってくるのではないかと思います。(長坂町)
- ケ 平成10年上九一色村ふれあいセンター完成予定 それに伴いまして栄養士を採用予定。(上九一色村)
- コ 県からの権限の委譲は市町村に専門的職員の確保が計られないうちは、無理が生ずると思う。(大和村)
- サ 県・保健所単位で、市町村とくに人口規模の小さい村への支援の強化をお願いしたい。(芦川村)
- シ 身近な事業を市町村が行うようになるので事務量が多くなり大変である。(小菅村)

(3) 市町村が現在抱えている住民保健の問題点などがありましたら、お聞かせください。

- ア 財政的には、大変厳しい状況にありますが、事業の重要性に鑑み採用する必要があると思います。(増穂町)
- イ 慢性疾患が増加している（特に糖尿病の重症化が目立つ）子供や大人の肥満、高脂血症が増加してきている。(身延町)
- ウ 理学療法士、作業療法士、歯科衛生士等、栄養士の設置についても総合的な配置計画を立てることとする。(南部町)
- エ 少子化と高齢化。栄養の両面からみると、働く母親の増加、便利な食品の増加などで、安易な食事内容になっていると思う。知識を実践へ結びつけることは難しいと思います。(富沢町)
- オ 糖尿病が増加してきている。合併症が起らない時期に、きちんとした食事指導ができるといいが、教室を開催しても出席者が少ないのが現状です。(若草町)
- カ 検診結果等を見ると、高脂血症、糖尿病境界域型などの成人病予備軍が多い。(甲西町)
- キ 食生活にしぼってみますと、飽食の時代、グルメブームということもあり、食生活の面で指導はますます重要と思われます。本町においても、成人病検診で高脂血症と診断される者が多く、具体的な食生活改善指導の必要性が高いところです。(双葉町)
- ク 栄養士に限らず、サービスの担い手となるマンパワーの確保が難しい。(大和村)

職域部会 今年度の動き

組織の強化は、生きづいている会員の脈が通じあっていることが大切でしょう。同じ職域の者同志が最も話題の通じやすいところ、それが職域部会です。活性化のために積極的な部会活動が望まれます。各部長の代表者から部会運営の考え方や、今年度の事業計画をいただきました。

学校部会

学校部会は栄養士の資質の向上、給食内容の充実、健康教育の推進など学校給食全体を見すえた幅広い研修会を予定。本年度は、例年以上に食中毒防止、衛生管理について細部にわたり研修を開き事故防止の徹底をはかる。

教育養成部会

会員数十数名と少ない部会ですが、栄養士・調理師養成施設の基地として共に資質向上、教育内容の充実を目的に活動しています。学会、研修会、講習会に積極的に参加して新しい知識を得るとともに、年に1、2回施設見学を行っています。

行政部会

業務研修として年4回の研修会を実施します。
8年6月20日 訪問栄養指導時の食事介護及び補助具、他
9月26日 特養施設及びリハビリ施設実習、他
12月18日 母子の栄養管理、離乳食、幼児食指導の実際
9年3月6日 アトピー性疾患と食生活指導

地域活動部会

- 1 活動課題
- ① 地域における健康づくり事業への参加
- ② 市町村保健事業に積極的に係わっていく体制づくり

くり

- ③ 子供の将来に正しい食の自立を
- ④ 地域における食文化の育成
- ⑤ 会員相互の親睦と情報交換
- ⑥ 組織拡大強化を図るため在宅栄養士入会の勧め
- 2 年間計画
- ① 定期総会 年1回
- ② 役員会 年5回以上
- ③ 研修会 年3回
- ④ 視察研修 年1回
- ⑤ 栄養なんでも電話相談
- ⑥ 県学栄養士会事業への協力参加、委託事業の実施等
- ・強化委「骨太家族」普及事業
- ・その他
- ⑦ 新人在宅栄養士学習会

産業部会

産業部会の平成8年度事業は

- ① 総会 婦人会館にて6月26日修了
- ② 研修会 「燃焼の化学」都市ガス、LPガス等燃料の成分ごとに、理論的必要酸素量、理論廃ガス量の詳細を化学反応式をもとに解説し、燃焼の現象を学んだ。(総会時開催)
- ③ 施設見学会 陸上自衛隊北富士駐屯地
11月下旬を予定し、新設された厨房と、新しい喫食システムを見学。オープン参加とし他部会の会員さ

んもどうぞ！希望は大木部会長まで連絡を。自衛隊員さんの食事も試食できます。

病院部会

平成8年度は、診療報酬改定からスタートした。集団栄養食事指導科の点数化、外部委託、医療用食品の廃止、10円から増額が予想される患者個人負担、医療法の改正にむけて等課題は多い。医療環境への対応や会員の資質の向上、親睦を重点に県栄養士会の職域部会として、又上部組織、全国病院栄養士協議会の事業や活動への協力等病院部会の規約に基づいて活動を展開している。

組織の強化、会員相互の情報を密にするため連絡網を整備、新制度に合わせて栄養管理の「報告書」について行政と検討中である。6月15日部会総会、集団栄養指導記録の方法とシンポジウムを、病態研修は7月6日在宅酸素療法研究会、10月27日関東甲信越糖尿病セミナー、学会(9月の栄養改善学会、3月の食事療法学会)への参加勧奨、施設見学は患者サービスや真空調理で専門誌等で掲載された聖隷三方原病院の見学が11月8日(金)にきました。業務への参考はもとより、道中の親睦もかねて多数の参加を期待しています。

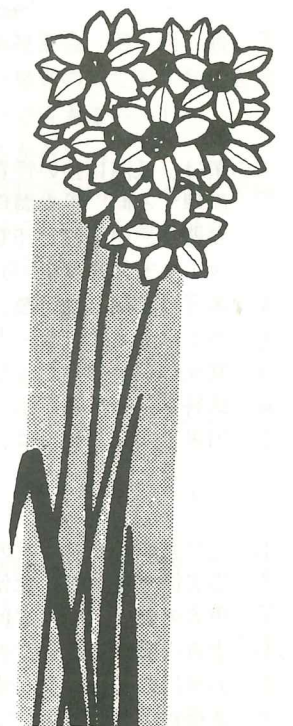
福祉部会

山梨県栄養士会福祉部会は、児童、身障、老人の3部になっています。6月に福祉部会の総会を開き、平成8年度年間計画について検討をしました。その結果、年1回程度の研修回と、お互いの情報交換をすることとなりました。

また、それぞれの部ごとの計画も実施されることとなりました。今、福祉に対しては、いろいろな方面より、注目されています。子供の数が減少しつつある中での児童の福祉。働く母親が多くなりそれにともなっている保育の充実。身障者の社会参加。老人

介護保健制度の問題など。

今、栄養士としてしなければならないことを、本年度も計画の目標として、常に対象者によりこんでもらえる食事作りのために努力していきたいと思えます。



腸管出血性大腸菌関連(○-157等)による食中毒について

腸管出血性大腸菌○-157による集団食中毒が発生し、小学生等が亡くなるなど全国的に被害が広がり一般市民をも巻き込んで食生活に大きな衝撃を与えました。

国は、文部省、厚生省、農林水産省など関係各機関から都道府県に対して、これに対する治療及び検査指針や予防対策、集団給食施設の食事調整等に係わる注意事項などの通達をもって食品事故を未然に防止するよう呼び掛けております。

会員の皆さんは、既に新聞、テレビラジオなどとともに、関係各機関からの通達などで、十分な情報を得ていることと思われますが、食関係の専門家として各自が原点に返り、自身はもちろん調理従事者に対しても、食品衛生の原則を徹底的に励行するよう指導し、調理場へは、調理関係者以外の部外者の立入り禁止を厳格に励行するなど食中毒事故の発生に万全を期してください。

どんな菌ですか？

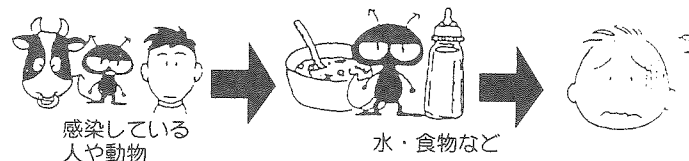
この細菌は、人や家畜の腸内にいる大腸菌の一種で、ペロ毒素を出します。この毒素により腸内が炎症を起こして下痢や血便がおこります。

乳幼児・小学生・お年寄りが感染すると重症になる場合があります。

どんなふう to 感染すですか？

○-157を含む家畜や感染者の糞便などにより汚染された食物や水によって、口から菌が入って感染（経口感染）するのがほとんどです。

少量の菌が口から入っただけでも、腸の中で菌が増え病気を起こし、腹痛・下痢・血便・吐くなどの症状が出ます。



どうすれば予防できますか？

この菌は、低温に強い性質を持っていますが、熱には弱く、75℃1分以上で死滅します。

- 調理する時、手や調理器具（包丁・まな板・ふきん・食器等）は洗剤を使って十分に洗いましょう。食器は、中心部が75℃1分以上になるように加熱しましょう。
- 包丁やまな板は肉・魚・野菜で使い分けましょう。不可能なら、料理の都度熱湯や消毒剤で洗いましょう。
- 調理器具は、洗浄後、よく乾燥させましょう。
- 外から帰ったとき・トイレの後・食事前などに洗剤や消毒剤を使って手を洗いましょう。
- 食品の買い物の際、なま物は最後に購入し、早く帰って冷蔵庫に入れましょう。
- 飲料水（特に井戸水、受水槽）は滅菌したものを使用しましょう。
- 出来上がった食事は、すぐ食べましょう。

血が混じった下痢をした場合は？

- ただちにかかりつけの医師の診察を受け、その指示に従って下さい。
- 患者の糞便とか、糞便により汚れている物をかたずける場合はゴミ手袋などを使用する。
- 患者の糞便が手指に付いたら、手洗い後、逆性石鹼や70%アルコールで消毒して下さい。
- 患者の糞便で汚れた衣類は、煮沸や消毒剤で消毒し、家族のものとは別に洗たくして下さい。
- お風呂のお湯により感染する可能性もありますので、患者は最後に入浴し、お湯は毎日変え、使用後の浴槽は十分に消毒して下さい。



第10回 管理栄養士国家試験合格者の声

—よろこびのひとくちコメント—

受験者数（全国）13,194名 合格者数（全国）5,334名 合格率 40.4%
 受験者数（山梨） 不明 合格者数（山梨） 20名 栄養士会員 12名

会 員 合 格 者

⊗小林千恵子（身延山病院）	⊗内田留美子（一宮温泉病院）
⊗鍋田穂津美（身延山病院）	⊗土屋 文美（富士温泉病院）
⊗河西 順子（宝山寮）	⊗大熊 裕子（石和温泉病院）
⊗広瀬 マリ（甲州リハビリテーション病院）	⊗小俣 貴子（葛葉学園）
⊗窪田 美春（山梨温泉病院）	⊗奥山 巳恵（地域活動部会）
⊗渡辺美代子（甲府公立病院）	⊗小林 真実（やまびこ養護学校）

***** 病院部会 小 林 千恵子
 永年の勤務歴をもっている私ですが、管理栄養士の受験ははじめてでした。職場の同僚と共に学び励まされ、精一杯頑張りました。この合格の喜びを終生忘れず、諸先輩や後輩のお祝の言葉を心の糧として、これからも努力したいと思います。

（身延山病院）

***** 病院部会 内 田 留美子
 この試験を通し、学ぶことの楽しさを初めて知りました。受験勉強で得た知識を無駄にせず多くの情報に耳をかたむけ、努力し、自分の糧とし、仕事に生かしていきたいと思っています。

（一宮温泉病院）

***** 病院部会 鍋 山 穂津美
 「病院で仕事をしていくなら管理は絶対必要。給食屋になるか栄養士になるかの別れ道よ」先輩栄養士にそうアドバイスされたのが受験の切っ掛けです。勉強不足で経験も少ないですが、コツコツと頑張りたいと思います。

（身延山病院）

***** 病院部会 土 屋 文 美
 試験勉強と仕事の両立は大変でしたが、多くの人

に支えられ、合格できた今はその喜びでいっぱいです。

これからも、毎日たくさんのことを吸収しながら、常に前へ進んでいきたいと思っています。

（富士温泉病院）

***** 福祉部会 河 西 順 子
 私「アッ！国家試験の合格者のってる。私の名前あるわけないね。……エッでもある……」
 主人「同性同名ってあるからな。」

こんな会話から始まった我家の朝食。本当に半信半疑の複雑な気持ちの一日でした。合格者通知が届いた時は、本当にうれしく受験してよかったと思いました。思うように勉強が進まず、試験当日まで受験を迷っていた私を「軽い気持ちで！」と背中をおしてくれた主人に今は、感謝しています。これからも資格に負けないよう、日々勉強していきたいと思っています。

（宝山寮）

***** 病院部会 大 熊 裕 子
 「やればできる」と自分に言いかけ、4度目のチャレンジではありましたが、合格することができました。

管理栄養士という資格に甘んじず、これからも日々

勉強していきたいと思います。

(石和温泉病院)

***** 病院部会 広瀬 マリ
今回、思い掛けず国家試験に合格しまして、大変うれしく思います。これも先輩、母校の先生方の指導、協力があつたからだと思います。ありがとうございました。

(甲州リハビリテーション病院)

***** 福祉部会 小俣 貴子
新聞で名前を見つけた時は、同性同名の他の人だとしか思いませんでした。合格通知が届き、本当に合格したんだと実感し、喜びを感じました。管理栄養士の資格を受けたらと勧めてくださった先輩のおかげだと思います。

(葛葉学園)

***** 病院部会 窪田 美春
合格の知らせを聞いた時は、間違いではないかと思ひ信じられませんでした。合格通知が届き、はじめて本当だったんだと実感でき、ホッとしたのですが、反面、今まで以上の勉強、努力が必要だと実感しました。まだまだ未熟ですが、この資格を十分生かせるよう、これからも日々勉強を続けていきたいと思っています。

(山梨温泉病院)

***** 地域活動部会 奥山 巳恵
発表から既に3ヶ月近く過っているので、喜びの実感も薄らいでしまいましたが、2回目の挑戦でやっと合格しほっとしました。

今後も管理の名称に甘んじる事なく広い視野を持って学んでいく所存です。

(在宅栄養士)

***** 病院部会 渡辺 美代子
私自身“よくやった”と胸を張って言えるくらい頑張りました。変則勤務をしながらの試験勉強はともつらく、肉体的にも精神的にもまいってしまいましたが、周りの人達の励ましや協力のおかげで乗り越えられました。とてもありがたかったです。

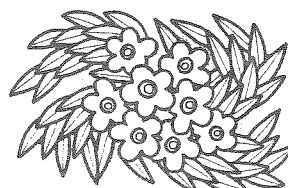
とにかく。こんなつらい思いをするのは最初で最

後にしたいと思い、試験が終わるその瞬間まで粘りに粘った結果が合格でした。しかし、合格はゴールではなく、管理栄養士としてのスタートです。資格に恥じないように、学ぶ事が山ほどあり、また勉強の日々が続きそうです。

(甲府共立病院)

***** 福祉部会 小林 真実
合格は新聞で見て初めて知ったのですが、嬉しさもありましたが安心という気持ちの方が大きかったです。しかし、安心する前に、もっと多くのことを勉強する必要があるように感じます。

(やまびこ養護学校)



県立 中央病院

栄養科

かき上げ式洗浄機を導入して

栄養士長 金子 義憲

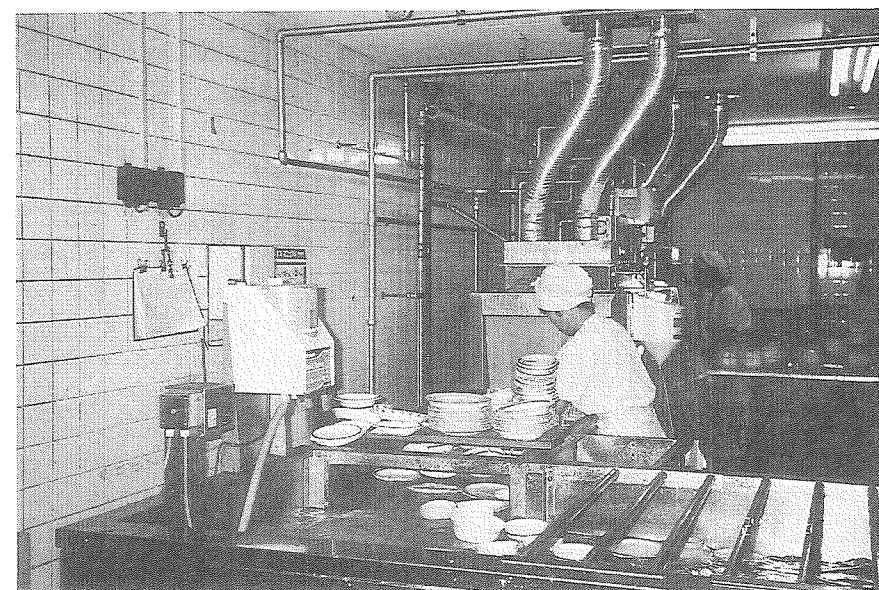
「医療レベルが同程度なら、食事の充実した病院に入りたい」と言う患者さんの病院給食の評判が病院経営を支える柱のひとつになる“病院アメニティー時代”が到来したと言われる。事実、病院の施設拡充の進展はめざましいものがあり、清潔・便利であることは言うまでもなく、広いパブリックスペースなども確保され入院中も快適な暮らしができるよう配慮されているところが増えている。

病院食も「特別管理給食」「選択メニュー」「食堂提供」などの部分加算制度の後押しをうけて、徐々にではあるがグレードアップが図られている。しかし、現実には、これらの食事サービスを提供するための人員配置、施設改善が不十分なため、変則勤務、適時給食に間に合わせるための作業の集中化に対する現場の不平不満が充満している。このような現状を打破するために、厨房タイムスケジュール・作業

工程の見直し・機器導入による作業の省略化を行うことは、大変重要なことである。特に一連の業務の中で、食器洗浄作業の効率化と時間短縮は、毎日朝・昼・晩と三食必ず提供しなければならない医療施設においては、作業改善の最大ポイントとなる。

当院では、平成8年3月25日前田草川栄養士長が、浸漬槽とコンベアタイプ洗浄機をドッキングさせ、かき上げコンベアにより食器類を自動的に送りこむことができる省力型の洗浄機フジマック社製「L型かき上げ洗浄機」を導入した。適温方法が保温食器であるため必ずフタがつき、カサの大きい食器の洗浄には最適の機種であり、今では夕食済食器を処理する遅々番も一定の洗浄時間で作業ができるようになった。

以下は、私がこの4月から当院に勤務して食器洗浄機の洗浄効果、洗浄効率を高めるポイントについ



て感じたことである。

①前処理工程

・食器類の仕分け作業を行う「食器仕分け装置」の設置が必要…もっと作業効率がアップする。

②浸漬・前洗い工程

・食器の汚れ具合に応じて、浸漬時間を設定する必要がある。

・前洗い（予洗い）は、浸漬した食器をジェット噴射により行うので、ジェット噴射を常時ONにして行うこと…食器がかき上げベルト付近に集中するので時々ジェット噴射を止めて作業している。

・洗剤は浸漬性と膨潤性が大きく、使用濃度の薄い低泡性の洗剤が必要である。

当院では、エコロボ社製「ソリッドテトラックス」 日本ディパーシー社製「DV-100」

マルフク社製「マルフクパワー」の3種類を試験し、調度担当に比較資料を提供した。

③かき上げ工程

・食器数量に応じた機種であること…本機は、当院の食器数量だとコンベア巾が狭い。

④洗浄工程

・洗浄水の温度、量と圧、本洗い洗剤の濃度コントロールを状況によって変え、洗浄効果が常に最大であるよう管理する。

⑤すすぎ、乾燥工程

・すすぎ工程では、高温水の温度管理が大切で85～90℃の高温水がまんべんなくスプレーされているよう管理が必要。温度が90.5℃以上になると霧状になってすすぎ効果がなくなる。

・すすぎ工程と乾燥工程は、分かれている方がよい…乾燥が充分でない状態で排出される。

総合厨房設備設計

〇〇〇企画から施工まで〇〇〇

三信化工(株)代理店

国際化工(株)代理店

(株)フジマック代理店

創造のパートナー



和泉産業(株) 食器・厨房部

甲府市徳行2丁目3-20

☎ (0552)22-1153(代)

FAX (0552)32-7777(代)

大月市立 中央病院

栄養科

栄養指導状況について

栄養士長 老沼 喜久江

当院の栄養科の概要、昭和59年2月より、ハード面として適温給食、適時配膳、衛生面と3点に目標を絞り、近代的で合理的なシステムの施設、設備を整えた給食棟を新築、保温トレイセットを使用しましたので見た目も衛生的で患者に食事を配食した後でも患者が自由に食事時間を30～1時間程度でしたら延長しても温かく、おいしい食事がいただけます。ソフト面では組織として給食係から栄養科に事務局から医療局に、給食婦から調理学校新卒の若い男女を採用身分制度を確立した。また働きやすい明るい職場作りに努めて患者が満足して食べていただける様な料理作りに努めています。

栄養相談には個人指導と集団指導がありますが、今回は個人指導を紹介します。個人指導は入院、外来と患者が多いので予約制をとっています。外来患者は毎日AM9:30分～12:00時、入院患者PM1:00～3:30分まで患者は特に食事を作る方と同伴で受けていただきます。相談時間は1人1時間から1時間30分。相談者は、外来又はナースに声をかけますと、担当看護婦がカルテ、食事指食箋を持って相談室に患者と家族を案内して来ます。患者に不都合のある場合は担当管理栄養士にさりげなく耳打します。栄養士は出来るだけ穏やかに患者をむかえ、カルテを読み、検査データをチェックし患者の緊張を解くため食事調査表を記入しながら、日常生活、休養の会話をしているうち、患者も安心して心を開いて来ますので病気と食事の説明をして、食品の実物、フードモデル、パンフレット食品交換表を使い患者の日常の食生活の中で病気にあった食事が出来る様に食品交換した料理の作り方、調味料の使い方の工夫を指導して患者が無理なく、バランスの良い食事が食べられる様にすすめます。

当院も患者の高齢化が進み、病気で1人暮らし又超老夫婦だけの生活が多く、なんといっても食生活が問題で、火を使う事の大変さ、買物、等色々問題をかかえコンビニエンスストアのお弁当、レトルト食品、インスタント、冷凍食品、缶詰、又レンジの使い方、配達業者の紹介等患者が無理なく手に入る食品を交えながら何とかバランスの良い食事をとれる様にしていますが、老人の食生活の大変さに突き当たり外部からの情報を得ながら、常に安心して相談が出来る様務めて行きたいと思ひます。



栄養食事指導依頼票

(カルテ用)

患者番号	入院	F	室
氏名	外来	内・外・整・婦・泌・小児・その他	
生年月日	性別	病名	
所属	発行日	合併症	
		職業	
	身長	cm	体重
		kg	標準
			kg

指示医師名

※約束食事箋により分類 (○印)

糖尿病 単位

腎臓病 単位

肝臓病 (I・II)

胃潰瘍食

腎炎 (I・II)

ネフローゼ (I・II)

腎不全 (I・II)

透析 (I・II)

脂肪制限食

塩分制限食 (I・II)

貧血食

高脂血症A・B-(I・II)

検査項目	結果	検査項目	結果	指示	栄養量
血圧	/	総コレステロール	mg/dl	エネルギー	Kcal
		中性脂肪	mg/dl	たん白質	g
		総たん白	g/dl	脂質	g
糖負加試験	前			水分	cc
	30分			連絡事項など	
	60分				
	120分				
	100分				

治療内容	インスリン 有・無 経口糖尿病薬 有・無	降圧剤 () 有・無 利尿剤 () 有・無 強心剤 () 有・無	ワーファリン 有・無 ステロイド 有・無 その他
------	-------------------------	---	--------------------------------

食事調査	食品名	毎日	時々	食べない	1日量
食事療法経験：無 有 ()	主 食	ごはん			
調理担当者： 食事を共にする人数	主 食	パン			
朝食時間： 朝 昼 夕	主 食	めん			
食事回数： (1, 2, 3, 4,) 回	果 物				
食欲：旺盛、普通、不振 ()	魚				
外食：無 有 ()	肉				
加工食品：あまり食べない、食べる ()	卵				
食べる速さ：速い、普通、遅い、 味付：濃い、普通、薄い	大豆製品				
好きな食べ物：	乳 類				
嫌いな食べ物：	油 類				
運 動、その他	野 菜	有色			
日常心がけている運動：無、有 ()	野 菜	淡色			
睡眠時間： 時間 (起床 時・就寝 時)	菓 子 類				
基礎食+付加食	嗜好飲料				
交換表 単 位	食品例 (グラム)	め や す			
表1 6+	食品例	アルコール			
表2 1+	果 実 類	タ バ コ			
表3 1+ 1+ 1+ 1+	魚 介 類	指 導 ボ イ ン ト			
	肉 類	食品構成、 献立料理、 偏食の矯正			
	鶏 卵	3食配分のバランス、 不規則の是正			
	と う ふ	指導特記事項：			
表4 1.4+	牛 乳				
表5 1+	油 脂				
表6 1+	野 菜 類				
	き の こ				
	海 草 類				
付録 0.6+	みそ汁みそ				
	調味料さとう				
合計 15+		理解：よくわかった、 すこしわかった、 わからない			

大月市立中央病院

病 院

栄養相談

開設の紹介

県内病院を無作為で調査した、9月以降の栄養指導実施予定です。

業務の都合等により栄養指導に十分時間が取れない病院でも、日常業務の工夫により栄養食事指導料算定制度を活用した、患者への栄養指導に取り組みましょう。

なお、詳細については、各病院栄養士にお問い合わせ下さい。また、各施設における栄養指導の実施状況を次号にも掲載したいと思いますので、実施病院及び病院以外の施設からの情報を事務局にFAXでお知らせください。

88 県立中央病院 栄養科 0552-53-7111 管理栄養士 日向 純子

- 栄養士長 金子義憲

1. 個別指導 (予約及び随時) 栄養指導室

 - ・入院、外来とも月曜日～金曜日に随時実施
 - ・人間ドック受診者栄養指導 毎週火曜日、金曜日 (11:00～)
 - ・育児相談 毎月第2木曜日 (15:00～) 小児科外来

2. 集団指導 (会議室)

 - ・糖尿病教室 (毎週火曜日 4回コース) 栄養指導 毎月第2、3火曜日 (14:00～16:00)
 - ・虚血性心疾患教室 (14:00～16:00) 9月12日、10月29日、1月9日
 - ・高血圧教室 (14:00～16:00) 10月11日、3月7日
 - ・腎臓病教室 (14:00～16:00) 11月13日
1. 個別指導 (予約制及び随時) 月曜日～金曜日 (14:00～)

2. 集団指導 (奇数月の第1月曜日～木曜日4回コース) 栄養指導 水曜日

88 山梨医科大学附属病院 栄養管理室 0552-73-1111 栄養管理室長 小山 巖

1. 個別指導 (予約制及び随時) 月曜日～金曜日 (13:30～)

2. 集団指導 糖尿病教室 (毎週金曜日4回コース) 栄養指導 第3または4金曜日
1. 個別指導 (予約制及び随時) 月曜日～金曜日 (14:00～16:00)

2. 集団指導 糖尿病教室 (4回コース) (14:00～16:00) 会議室 毎週火曜日開催 (第3火曜日 食事療法のコツ)

・テーマ別食事指導 (14:00～15:00) 会議室 毎週金曜日

88 社会保険山梨病院 栄養課 0552-52-8831 栄養課長 梅本 潤子

1. 個別指導 (入院、外来とも予約制) 栄養指導室 月曜日～金曜日 (9:30～17:00)

2. 集団指導 糖尿病教室 (4回コース) (14:00～16:00) 会議室 毎週火曜日開催 (第3火曜日 食事療法のコツ)

・テーマ別食事指導 (14:00～15:00) 会議室 毎週金曜日
1. 個別指導 (入院、外来とも予約制) 栄養指導室 月曜日～金曜日 (9:30～17:00)

2. 集団指導 糖尿病教室 (4回コース) (14:00～16:00) 会議室 毎週火曜日開催 (第3火曜日 食事療法のコツ)

・テーマ別食事指導 (14:00～15:00) 会議室 毎週金曜日

88 巨摩共立病院 栄養科 0552-83-3131 栄養科長 小淵 正子

1. 個別指導 入院、外来とも医師の指示により随時実施

・乳児個別指導
1. 個別指導 (入院、外来とも予約制) 栄養指導室 月曜日～金曜日 (9:30～17:00)

2. 集団指導 糖尿病教室 (毎月第2金曜日14:00～17:00)

・その他医師の指示により開設

88 富士吉田市立病院 医事課給食担当 0555-22-4111

- 毎月第2水曜日(14:00~)
2. 集団指導
- DM教室(月曜日~木曜日の4回コース)
- (14:00~)
- 9月10日(火)、11日(水)
- 10月15日(火)、16日(水)、29日(火)、30日(水)
- 11月12日(火)、13日(水)、26日(火)、27日(水)
- 12月10日(火)、11日(水)
- 1月21日(火)、22日(水)
- 2月4日(火)、5日(水)、18日(火)、19日(水)
- 3月4日(火)、5日(水)、25日(火)、26日(水)
- ※竜王診療所 毎月第2、第4水曜日
- (14:00~) 個別、集団指導実施

88 甲府共立病院 栄養課 0552-26-3131

栄養課長 町田 章治

1. 個別指導
- ・糖尿病 毎週月、火曜日(13:00~) 予約制
 - ・各疾患 月曜日~土曜日 予約制
 - ・高血圧 必要により実施
2. 集団指導
- ・糖尿病 毎週火曜日午前 予約制
- 武川診療所 毎週木曜日 予約制

88 大月市立中央病院 栄養科 0554-22-1251

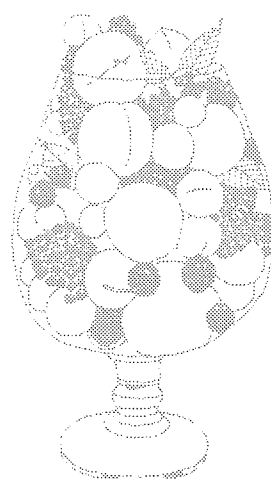
栄養士長 老沼喜久江

1. 個別指導(予約制) 栄養相談室
- 月曜日~土曜日
- (9:30~12:00、13:30~15:30)

88 市立甲府病院 栄養管理課 0552-33-7101

管理栄養士 中村恵美子

1. 個別指導(予約制及び随時)
- 毎週水曜日
2. 集団指導
- DMスクール(11月、12月、3月)



平成7年度会費納入のお願い

会費は会運営の基本財源です。未納者は、至急、納入して下さい。

●会費 (社)日本栄養士会費 5,300円
日本栄養士連盟会費 700円
(社)山梨栄養士会費 6,500円
計 12,500円

*納入時は会員番号を必ず記載してください。

●納入要領

◆山梨中央銀行甲府駅前支店
普通預金口座 28726
(社)山梨栄養士会 あて

第6回 研究発表会要旨

期 日 2月17日(土) 午後1:30~3:30

会 場 山梨学院大学40号館101教室

I. 作る心・食べる心

学校部会 梅田美津子

富士吉田市給食センターは、小学校7校、中学校4校、保育園6園で7620食の県下随一の規模である。職員は合計46名の構成である。

センター運営は、「児童、生徒、および幼児の健康増進のため、「正しく、楽しい食事をとることのできる学校給食」の実現を期する。」ことを目的とし、児童・生徒が自らの健康を考えた食事が取れ、健康な生涯を過ごせることを願い、「作る人と食べる人との“ふれあい”」を、大切にしたいという願いをこめて実施している。

1. 栄養管理の面では、季節、嗜好、行事食を取り入れ、所要量を満たす事を旨とし、教職員にも献立立案の趣旨の理解を図っている。
 2. 栄養指導の面では、給食だよりの配布、学校訪問、保護者の試食会、子供達のセンター見学等効果的な指導を行なっている。
- 以上のポイントを旨とし業務を遂行している。
- また、一方的な食事提供や資料配布では不十分であり、学校訪問や保護者の試食会等を積極的に実施し、「自らの健康を考えた食生活を送れる能力を身につけさせる。」ために努力したい。

(富士吉田市学校給食センター)

II. 中高年の食生活について

教育養成部会 藤井まさ子

1. 目的

中高年の食生活は、成人病等の発症率が増加する時期であり、健やかな老後を迎える折り返しの時期であることから、その現状を知る必要がある。問題点を把握する資料と授業への導入を目的として、調査を実施。

2. 方法

調査対象は男子50人(50.7±3.7歳)、女子91人(47.9±3.9歳)である。食事調査は連続した平日2日間について実施した。あわせて生活時間調査、生活・健康・疲労自覚症状についてのアンケート調査を実施した。

3. 結果及び考察

調査データをまとめた結果、睡眠時間が不十分な者に、疲労感も高く健康への自信が低い。しかし、栄養摂取充足率には、睡眠充分な者との差は認められない等、食事についての指導と生活状況や休養について合わせて指導するための資料となった。授業への導入は学生がコンピュータ入力しやすい調査用紙の工夫が必要と思われる。

(山梨学院大学)

III. 教育媒体を活用した、小児の食教育

行政部会 望月 邦子

管内の2保育園において、保育園児に焦点を当て、食教育を実施した。

1. 事業を取り組むに至った経緯

近年、子供の成人病、体温の低下、歯周疾患等の食生活の問題が増加している。幼児の歯科保健相談事業で食教育の必要性を痛感し手作りの媒体を作り在宅栄養士の協力で食教育を実施することになった。

2. 目的

正しい食習慣を身につけさせる。

3. 事業内容

第1回 講話「子供の健康と食生活について」
第2回「健康と食べ物の楽しい話」 その1、食品の種類、働きと分類。

第3回 その2、1つの料理からその材料、作り方バランスの取れた食事。

第4回 ホットプレートを使った手作りおやつ。

対象者は第1回は保護者、2~4回は園児。

4. 事業の成果

産業部会 河南 洋子

- ①食品の働きや分類をさせ、いろいろな食品を食べる事を学習させる事ができた。
- ②調理実習を通し、食べ物の大切さ、有難さを再認識した状況がうかがえた。

5. まとめ

子供の反応は直ぐ現われ、やりがいのある事業であった。今後も、実施箇所を増やし、継続し、全体に広めて行きたい。

(小笠原保健所)

Ⅳ. 総合健康、事後指導への栄養士のかかわり

公栄部会 遊在 渚

荊崎市で公栄部会の栄養士が総合検診及び結果報告会にかかわり8年になる。検診当日は食生活改善推進員のアドバイスもしてきた。

結果報告の歩みは、

1. 全対象者への個人指導
2. 検査結果によるグループ別指導
3. グループ別指導より個人継続相談へ

個人指導では医師、保健婦の話に続いて、栄養士は検査結果と食生活との関係、食生活のみなおし等改善を促す教育を行なってきている。グループ指導になってから、同じ様な検査結果の者が一つの教室に分かれ、話を聞く事により、親近感が増し、心をひらいて積極的に自分の健康への取り組みが高まった。グループ指導において、栄養士は、体験や、気になっている点など質問や発言をひきだすように心がけ指導効果をあげた。

しかし、実行ただちに結果という訳にはゆかない、とくに食生活においては、継続の意識をもたせる必要を常に感じた。また健康食品等の理解度に個人差が多く、乱用、偏りのケースもみられた。

以上の様な実態からモデル地区を設け病態別のグループごとに調理実習、バイキング式試食会、さらに平成7年9月より、個人継続栄養相談をはじめた。

(荊崎支部)

V. 学生の健康に関する

アンケート調査及び嗜好調査結果

1. 目的

学生の健康及び食事に関する状況を把握し、献立に関心を持ってもらう事と、今後の栄養指導、献立作成、調理方法の参考にする為。

2. 実施期間

平成7年10月15日～17日

3. 対象者

全寮生 411名(男176名、女235名)
回収率100%

4. 調査方法

アンケート配布、3日後回収

5. 結果 健康に関するアンケート、嗜好調査それぞれについて、(詳細は省略)

6. 考察

牛乳を「毎日飲む」が57%と半数を上回るが、「時々」「全然飲んでいない」が43%という結果、カルシウム摂取を促進するにあたり、カルシウムを多く含む料理の作成に気をくばりたい。全般的に現代の若者の特徴か尾頭付魚は敬遠される。

これから医学の道に進む学生達に「食」の大切さを1年間の集団生活より学べるよう、状況把握に努め、栄養士業務を充実させていきたい。

(昭和大学富士吉田校舎)

Ⅵ. 当院におけるアンケート調査から

病院部会 田草川憲男

1. 目的

喫食患者は何を求めているか。どう対応するかを検討するために実施。

2. 方法

平成8年1月17日昼食配膳時に食事とともに配布。19日栄養士による病棟訪問により個別回収。
対象は、流動食を除く喫食者全員(N=396名、平均年齢55.5歳)回収率66.9%
調査表回収者における特別食喫食率32.3%

3. 結果

①食事全体の満足度

「大変満足」と「ほぼ満足」を合わせて68.6%で「やや不満」「大変不満」を上回ったが、昨年同期の調査結果を加えると、2/3の患者は

不満に近い“まあまあ”であると推察されている。

- ②“食事全体の満足度”を他の質問とクロス分析してみると、「献立の変化」「おかずの味付け」「焼き物の焼きかげん」「汁物の味付け」「盛付け」「食器のきれいさ」のすべてにおいて、“好感をもっていない”患者の「大変満足」及び「ほぼ満足」が低率であった。
- ③献立の変化では「変化があり良い」は36%にとどまり、おかずの味付けで「ちょうど良い」は36.5%であった。

4. 考察と今後の対応 *

- ①さらに調理担当者とタイアップして、週1回予定献立検討会の開催や料理別調理法の改善を積み重ねて行きたい。
- ②料理の快適性を高める温度管理においては、新築病院計画の中で、全体を考慮して、具体的検討に入っている。
- ③病院給食の質的向上を図るためには、経験豊かな調理師の配置が必要である。また栄養士同志の技術交流、集団給食施設指導の観点から行政部会との連携も大切と考えられる。

(県立中央病院)

Ⅶ. 栄養指導後における受診者の意識調査結果から

病院部会 渡辺 富男

1. 目的

当院のクアハウスに於ける人間ドックは、昭和62年6月に開設され、平成7年8月まで約8年間に渡り12803名のドック受診者に対して栄養指導をしてきた。

受診者がどのような状態で指導を受けに来るのか、指導後、生活に対する意識がどの様に变化したか、充実した指導を行なう為のアンケートを実施した。

2. 調査期間

- ①平成7年4月1日～平成7年4月31日
- ②平成7年11月1日～平成7年11月30日

3. 調査方法

- ①指導直後に質問表により回答を求めた。
- ②指導6ヵ月後、往復葉書による質問表により回答を求めた。

4. 調査人員

指導人数 139名

回答者人数 79名(57%) 男53名女26名

5. 設問事項

- ①栄養指導はどのような動機で受けたか
- ②食生活についての関心度
- ③栄養指導内容についての理解度
- ④指導を受けて、あなたの食生活に対する意識変化
- ⑤その他 受診者の感想 e t c
設問に対して詳細な分析(省略)

6ヵ月後ののがきによる調査は、のがき配布人数 79名

のがき回収 41名(52%)で、設問事項は次のとおり。

- ①指導を受けた通り食事している 12名(30%)
- ②多少食事に対して意識するようになった 27名(66%)
- ③まったく食事に関して意識していない 1名(2%)
- ④その他 1名(2%)

6. 考察

意識調査は受診直後と6ヵ月後に行なったが内容的に雑ばくなものとなったと反省しているが、受診者の食生活に対する意識を把握する上で参考になり得た。

今後他施設の指導内容も参考にし、直接受診者と面談し聞き取り調査も実施し、更なる指導の充実を図り、細部にふみこんだ「食生活改善意識調査」を実施したい。

(石和温泉病院)

会 務 報 告

平成8年度前期（概要）

1. 理事会

平成8年4月19日（金）午後1時30分から5時
於 甲府市南公民館研修室
議題

- ①理事候補者の選出について
- ②会長候補者・副会長候補者の選出について
- ③監事候補者の選出について
- ④代議員候補者の選出について
- ⑤通常総会の運営について

出席理事

藤 巻 一雄、小 沢 量子、山 本 賀子、
大 木 由枝、深 沢 清子、長 田 松子、渡 辺
富雄、老沼喜久江、小 淵 正子、大竹巳千子、
水 地 民子、森 田 園子（監）、河 南 洋子

出席支部長

斉 藤 正治、藤 原 りつ子

出席理事候補

根津美智子、依 田 明子、沢登八千代、雨宮一
二三、外 川 晴美、古屋百合子、細 萱 幸子

平成8年6月29日（土）午前10時から12時
於 甲府市南公民館研修室

議題

- ①日本栄養士会通常総会報告について
- ②副会長の会長代行の指名について
- ③理事の担当部署の決定及び各部長の選出について
- ④副会長の担当部署の決定について

出席理事

藤 巻 一雄、老沼喜久江、斎 藤 正治、古屋百
合子、雨宮一二三、小 淵 正子、山 本 賀子、
外 川 晴美、根津美智子、田草川憲男、大 木
由枝、川 崎 陽子、長 田 松子、深 沢 清子、
沢 村 和子、小 沢 量子（監）、森 田 園子
（監）

研修会 午後1時から5時まで

- ①日本栄養士会の組織について
- ②山梨県栄養士会の組織と執行体制について
- ③各部の業務所掌内規について
- ④会計事務規定について
- ⑤山梨県栄養士会及び日本栄養士連盟山梨県支部慶弔規定について
- ⑥山梨県栄養士会及び日本栄養士連盟山梨県支部役員慶弔規定について

2. 「栄養なんでも相談」検討委員会

平成8年7月17日（水）午後2時から5時
於 (社)山梨県栄養士会事務所事務所
議題

- ①新聞掲載記事の見直しについて
- ②市町村広報紙の活用について
- ③その他

3. 「栄養やまなし」編集会議

・平成8年7月25日（木）午後2時から5時
於 (財)山梨県栄養士会

- ①「栄養やまなし」52号掲載記事の編集内容の検討

- ②記事執筆 依頼者の選考

・平成8年8月22日（木）午後2時から5時
於 (財)山梨県栄養士会事務所

- ①掲載記事の審査
- ②初校日程等協議

4. 総務部会議

平成8年7月27日（土）午後2時から4時
於 富士屋ホテル ロビー

議題

- ①ねりんピックの対応について
- ②会の諸行事運営の円滑化について

☆ 賛 助 会 員 ☆

（順不同）

平成8年9月1日現在

商 社 名	電話番号	代表者氏名	業 務 内 容
イカリ環境サービス(株)	0552-41-1755	宮 沢 公 広	防鼠害虫駆除
和泉産業株式会社	0552-22-1153	名 取 忠 信	食器、厨房機器
上 田 商 店	0552-66-2331	上 田 昭 雄	ソフクリーン、もずく
魚 日 出 (株)	0552-35-7648	山 田 日出男	鮮魚卸、小売り
大塚製薬甲府出張所	0552-76-8581	針 生 均	ハインックス、ボカリスエツト
オギノ食糧(株)	0552-22-5181	荻 野 恒 男	給食材料
(有)オズプリンディング	0552-35-6010	小 沢 孝 男	印刷
(株)三和化学研究所甲府営業所	0552-26-9010	太 田 徹	サンエツトA・サンエツトL・サンゲンラクト
キュービー(株)関東支店	0423-65-4111	鈴 木 豊	ジャネフ、ヘルスフード
甲 信 食 糧 (株)	0552-73-4561	中 込 豊 秋	給食用食品材料卸
シキシマ醤油(株)	0552-73-6844	天 野 袈裟富	醤油、減塩調味料、ジャネフ製品
信濃化学工業(株)	0262-43-1115	小 野 清	食器、トレイ
(株)テンヨ武田	0552-35-1141	武 田 辰 夫	醤油、給食材料
(株)日新厨房企画社	0552-73-3811	井 上 寛	厨房企画設計管理
(株)はくばく	0556-22-8989	長 沢 利 久	麦の総合食品メーカー、強化精麦「骨太家族」
宮坂醸造(株)	0552-41-8181	宮 坂 伊兵衛	味噌
湊 興 (株)	0552-26-3742	飯 島 忠	鮮魚、煮貝
株式会社マルハチ村松	054-624-5335	村 松 善 八	鹽の素、だしの素
森永乳業(株)東京支社甲府営業所	0552-76-3249	増 田 敏 雄	ミルク、乳製品
山梨ヤクルト販売(株)	0552-37-8960	上 田 敏 一	健康科学ヤクルト
(株)やまひろ	0552-76-0714	広 瀬 順 作	総合医療品卸
雪印乳業(株)甲府営業所	0552-51-7311	木 村 義 男	ミルク、乳製品
北沢産業株式会社甲府支店	0552-26-2800	森 沢 茂 男	厨房設計管理
第一出版株式会社	03-3291-4576	栗 田 元	栄養・調理関係書籍
新日本規格出版(株)	03-3269-2220	河 合 善次郎	栄養関係法規、栄養コンピューター
スリーライン株式会社	03-3433-0021	岩 嶋 徳	プラスチック業務用機器
中央法規出版株式会社	03-3359-3861	莊 村 多加志	食品衛生、栄養関係書籍出版
三信化工株式会社	03-3861-4331	島 谷 好 夫	メラミン、ポリプロ食器
武田薬品工業(株)東京食品営業所	03-3278-2693	赤 松 順一郎	強化米「新玄」
(株)ニチブン名古屋支店	052-204-1505	原 野 克 己	ビジュアル栄養科学事典「サルビオ」
三島食品(株)東京営業所	03-3317-1212	日名田 俊 文	ふりかけ、レトルト食品
(株)林原商事東京営業所	03-5285-0561	小 野 弘 治	特殊栄養品、低エネルギー食品「マービー」
ブリストル・マイヤーズスクイブ(株)	03-3486-4854	外 川 賢 治	アイソカルファイバース・アイソカルRTU・ブディング
(株)京都科学東京支店	03-3253-2861	中 島 恭 助	食品模型
ダイナポット株式会社	048-648-6540	高 本 英 明	ファイバー入りリキッドタイプ「エンリッチ」
(株)マインド	03-3498-3024	松 井 忠 一	カルライス、粥のもと、白がゆ
テーオー食品株式会社	03-3952-1381	河 内 釣 一	ファイブ・ヘルシー・カレー
鍋 林 (株) 甲 府 支 店	0552-37-0371	林 昭 夫	保温食器、液状栄養食品
(株)岩城ハウスウェア	03-5606-7211	赤 坂 敏 夫	軽量強化磁器「イワキホワイトチャイナ」、強化耐熱ガラス食器
(株)みしな食品	0552-28-1347	三 科 喜 男	無塩小梅、高級調味液漬
テルモ株式会社	0263-48-0701	筒 井 和 實	医療用食品の製造、販売
東洋羽毛工業株式会社	0426-75-8811	丹 羽 茂 忠	羽毛フロン

編
集
後
記

会員に役立つ情報と思っています。お知りになりたい情報等をお寄せ下さい。できるだけ調べて掲載いたします。(田草川)

はじめて編集にたずさわりました。会員の皆様の100%の購読を夢みながら、諸先輩といっしょにとりくんでいきたいと思います。(長田)

“O-157”の連発の驚きのあまり、うすれてしまった夏の輝き。食欲の秋を安心して満喫したいですね。はじめての編集委員頑張りたいと思います。(雨宮)

今年より編集委員に加わりました。魅力的な紙面になるよう取りくんでいきたいと思
います。(外川)

統括 藤巻一雄 老沼喜久江 中村大家

委員長 田草川憲男

委員 長田庸子 雨宮一二三 外川晴美

事務局 中村玲子

平成8年9月10日 栄養やまなしNo.52

発行所 社団法人 山梨県栄養士会

〒400 甲府市丸の内二丁目38-8

電話 0552-22-8593

FAX 0552-22-8593

栄養相談電話 0552-22-8140

✿ (社)山梨栄養士会事務所案内 ✿

